レッスン：PYR67

テーマ：質問

PYR KE07 No.14S1 05/14

私の姉妹、兄弟たちよ、

スピリット、光、火の子供たちよ｡私たちは常に主、絶対、主の聖性のなかに抱かれています。

　アガピとは何でしょうか。アガピは絶対真理であり、それは様々なレベルに分類することができず、人間は自己実現した時に初めてそれを現すことができます。私たちがこれらの現れの波動の中でアガピとして理解するものは、実際にはアガピではなく、それはエロティズムです。残念ながら、この現れのレベルにいる人間はエロティズムをセックスと結びつけています。ですから､私たちがアガピについて述べる時、それを完全にLifeの現れとみなす必要があります。4番目のサイクルでは、エロティズムが現される時、より多くのLifeが表現されます。

　セックスが純粋なエロティズムの結果であるとき、それは祝福されますが、しかし身体を喜ばせるためにだけセックスを利用するとき、私たちはそれに同意しません。なぜなら、それはどちらかと言えば動物的現れだからです。あなた方はこれを明確にするべきです。

　セックスを非難することはしませんが、セックスは純粋な、誠実なエロティズムの結果であるべきです。あなたは相手を思いやり、思いやる相手の痛みと喜びの両方を分かちあうべきです。それが純粋なエロティズムです…相手を思いやり、相手を自分の一部として感じるのです。

　アガピを言葉で説明することは不可能です。アガピはこの地球上のみならず、諸宇宙の全ての人間を思いやることです。それが本当のアガピです。現在のパーソナリティーとしてあなた方には責任を感じる人々がいることでしょう、例えば、直接の家族とか、多くの人生において家族のメンバーとして生きてきた人達などが。

　Lifeはアガピであり、アガピはLifeです。そして私たちが意識と言う時、意識とは何でしょうか。意識もLifeであり、意識はアガピです；そしてLifeについて話す時、Lifeとは神です。

　さて様々なアークエンジェルのオーダーがありますが、ヤコブの14の階段、ステップについて述べました。しかしまた、7つのアークエンジェルのオーダーだけがあると述べ、そのなかの5つについて話しました。実際には4つです。なぜなら守護天使はヤコブの階段には見いだされないからです。他の３つはまだ現在では扱っていません。

　なぜ14のステップなのでしょうか？各アークエンジェルのオーダーに対して２つのステップです。その理由は各アークエンジェルのオーダーはエンジェルを現すからです。それゆえに14のステップとしてのヤコブのステップがあるのです、なぜならパーソナリティーはそのアークエンジェルのオーダーとつながるだけでなく、それらの創造物ともつながるからです；なぜなら私たちがある現れのレベルに到達すると、アークエンジェル達と共同して働く必要があり、エンジェルとしてのエレメンタルを築く必要があるからです。彼等の目的は創造界における人間を助けることです。

　それがアークエンジェル達が行っていることです、彼等はエンジェルたちを築き、エンジェルたちは彼等よりもずっと低いところのものを築き、それが続きます。そしてLifeの現象の様々な現れを管轄するより小さなオーダーができます；蟻ですら自分達を管轄する小さなオーダーを有しています。何であれ“生きている”ものはそれを管轄、支配する一つのオーダーがあります。；それぞれの植物にもそれを管轄するオーダーがあり；様々な種類の動物たちにも、それらの各種類の動物を管轄するオーダーがあります。そのようになっているのです。

　そしてそれら全てのLifeの現象は、現在のパーソナリティーの現象以外は、Lifeの息吹の結果であると述べました；つまり、それらは創造されたものであり、直接的又は間接的にアークエンジェルからLifeの息吹を与えられたのです。

　人間は自己実現に到達すると、人間もまた自らのLifeの息吹を提供して何かを活性化させることができるのです。なぜなら、レッスンで述べたように人間には開かれたセルフエピグノシスが与えられているからです；私たちにはプログラムされたセルフエピグノシスはありません…プログラムされたセルフエピグノシスの結果として特定の仕事を行うアークエンジェルのオーダーとは違います。

Page2

Q：ウイルス、及び蚊のように私たちを悩ます生き物の目的は何ですか？

K：勿論、それらは私たちが原因となっているものの結果として、体験を提供しています。

Q：誰が私たちの個人的アークエンジェルを任命するのですか？

K：現在のパーソナリティーに付きそうアークエンジェルは、現在のパーソナリティーの初めての転生の時にLifeそれ自体によって任命されます。どのようにしてそれにアプローチするのか？私たちが築くエレメンタルを通じて、それらがどのように見えるのかと思うかもしれませんが、それらを見て、それに同調することはゆっくりと、少しずつ進みます。

　また、四面ピラミッドを築く事も求められています；皆さん各人は全員同じように築き、または同じように見ているでしょうか？それと同じ事が、例えばミカエルを見るということにも言えます。あなた方のイマジネーションが働き始め、ファンタジーが働き始めますが、徐々に少しずつそのイマジネーションはミカエルのリアリティー、どのように見えるのかに近づいていくのです。そのようになっています。

Q：潜在的可能性のサイクルを通じて自己実現をどのようにして速めていくのですか？

K：現在のパーソナリティーの大きなサイクルがあり、その中に小さなサイクルがあります、しかし現在のパーソナリティーは実際には４つのサイクルを扱うのです。

　最初のサイクルでは、人間は本能意識的意識のセルフエピグノシスを現し、２番目のサイクルは潜在意識的意識、そして３番目は意識的意識、４番目は超意識的意識です。最初の２つのサイクルでは、そのパーソナリティーは大きな四面ピラミッドの下にある、地のエレメントの内側、墓または部屋の中にいます。２番目のサイクルにいる現在のパーソナリティーはまだ部屋のなか、地のエレメントのなかいます。それは大きな四面ピラミッドの下にありますが、大きな四面ピラミッドは地のエレメントの中ではなく、地のエレメントの上にあります。

　２番目のサイクルでは多くの転生があり、そこでの努力とはそれらの手段をマスターして地のエレメントのなかにある低波動のエレメンタル（それは人間の無知の結果によるものです）と向き合うことができるようになることです。そしてそれらと向き合うことが可能となるのみならず、３番目のサイクルに入り、意識的に生き始めることです。そのサイクルでは地のエレメントに魅惑されることを手放しています。なぜなら、２番目のサイクルでは地のエレメント、そしてそこにあるものに魅惑されていますが、（＊３番目のサイクルでは）人生において真の価値があるものと、ないものを認識し始めるようになります。

　さて、全てのサイクルにおいて法則があり、それらの法則はLifeの現れが現在のパーソナリティーを（Lifeの本質を完全には現さないことによって）活性化したものと同じです。それらの同じ諸法則が、現在のパーソナリティーが（現在のパーソナリティーとしてさえも）Lifeの本質を表現することへと戻るのを助けます。なぜならば現在のパーソナリティーはLifeのスパーク（それは以前、現在のパーソナリティーを活性化したもの）と一つになるからです。

　勿論、それが生じる時、そこには名前はありません。そのステートで、その現在のパーソナリティーは現在のパーソナリティーとして引き続き留まります。誰かが自己実現に到達すると、その人は人類を助けるために引き続き転生のサイクルに留まります。なぜなら結局それがLifeだからです。

　３番目のサイクルでは現在のパーソナリティーは意識的に生き始め、前のようにディバインの法則に反することはなくなり、そしてもし法則に反したら、その結果はまえよりも厳しいものとなります。またパーソナリティーはより意識的に真の五感を使い始めます。

　３番目のサイクルの終わり頃は、パーソナリティーは真の五感を完全に使用し、五面ピラミッドはもはや使用されなくなり、最も重要なミステリー（神秘）が始まりますが、それは火の洗礼のミステリーであり、それはロゴスご自身によって行われます。そのパーソナリティーは五感を完全に使用し、４番目のサイクルに入り、自らを超意識的に現し、意識的に及び超意識的に人類を助けます。しかし、まだ進むべき先があります。

Page3

真の感覚をマスターする方法とは、自分自身のセルフを研修の場として使い、気づきを高め、Lifeそれ自体からさらに多くを表現するようにすることです。

全ての人間には、その人の現れがどのレベルにあろうとも、内側には神がいます。そして内なる神という時、神の本質を完全に現している神です；そして、もしそのスパークが“あなたは誰か？”と尋ねられたら、答えは“私は神である”となるでしょう。勿論、そういったことは起きません。

　それゆえに、私たちがどんな人間と向き合っても、その人の現れがどうあろうとも、私たちは目の前で神と向き合い、実際自分自身のセルフと向き合っているのです。しかしだからといって、非常に低次の現れを奨励するわけでありませんが、しかしその相手を思いやり、相手を抱きしめるべきです。

　さて、ところでどのぐらい多くの転生があるでしょうか？一回目から自己実現まではたくさんあります、百回、千回、百万、数百万；誰もわかりません。結局、私たちの惑星の年齢は数百万ではなく、数十億です。しかし、私たちが先に進むにつれて、進化成長が加速されます。

Q：私たちのシステムには惑星がいくつあるのですか？

K：この太陽系は生命の木の上ではメゾコスモス（中宇宙）です。両側に6つあり、真ん中に4つあり、2つは交差していますから、12となります。実際には、探究者として10という数字があります。それがスケルトン（骨組み）を刺激するものだからです。

Q：エゴティズムに関しては、それらの10は何ですか；それらはプライドのように特定の名前があるのですか、それら全ては聖なるセンターの特定のポイントで関連しているのですか？

K：それについては心配しないでください。なぜなら、あなた方はヘラクレスの仕事のなかで描写されているように一つを殺して、次をスタートすることをマスターするわけではありません；徐々にゆっくりと進み、マスターすること、殺すのは一度に、完全に取り除くのは一度に行われます。

Q：4番目のサイクルについて話してくれますか？

K：それはそのパーソナリティーにとってどのようなことが出来るのかを想像することさえ、あなたには不可能な何かです。ある人はそのサイクルにいるパーソナリティーを神とみなすかもしれません。4番目のサイクルに到達した人間もいます。最愛のお方が弟子達のために火の洗礼を行った時、それらの弟子達は3番目のサイクルを後にしました。彼等の前にもすでにそのサイクルにいた人がいるかといえば、答えはイエスです。

Q：イエス・キリストの時代には、その地域には高レベルに成長していた人が集まっていたのですか？

K：多くの人々はイエスの到来のために土台を用意しました、その地域だけでなく、その地域の周囲にも。人類は一つの神を信じ始めるようになりました。

　イエスキリストはペンテコスト（＊五旬節）の間に弟子達に火の洗礼を与えました。それゆえに、火の舌が彼等の頭から出てくるのが見えたのです。彼等は聖霊とつながり、それが火の洗礼の始まりでした。それは、そのパーソナリティーがアークエンジェル的状態をより多く現し始めたことを意味します。意識的のみならず、潜在意識的にも現し始めたのです。しかし、前にも述べましたが、この地球上で自己実現にさえ到達しました。結局、地球における最初の転生という初期の頃でさえ、全ての人間は自己実現した現在のパーソナリティーたちに伴われていました。それらの自己実現していた現在のパーソナリティーたちは助けるために地球に転生したのであり、元々はこの惑星の出身ではありません。

Q：自己実現した人が自分の波動を下げる時、その人は他人を害することができるのですか？そして原因結果の法則を蒙るのですか？それとも、そのような結果を蒙ることはないのですか？

K：それは、あなたがどのような意味で害を行うと言っているのかによります。もしそれがその人の成長にとってネガティブな痛みを生み出すということなら、そういうことは決してありません。それは他人を益するために、原因結果の法則の結果を受けます。その人は他人の痛みを背負わねばならず、それゆえに原因結果の法則とつながります。

　意味はそのパーソナリティーにとって多くのインパクトをもたないということを理解する必要があります。なぜなら、ある意味は許されないと分類されますが、将来は許されることになるとその人は知っているからです。私の言っている意味が理解できますか？昨日は悪とみなされたものも、今日は良いとみなされ、勿論その反対もあります。

Ｑ：それでは何は許されて、何は許されないのかを私たちはどのようにして知ることができるのですか？

Page4

K：人間の一般的レベルの気づきに従うべきであり、それが私のアドバイスです。来る時には来させましょう；しかし、自己実現した現在のパーソナリティーにとっては、それはまったく別のことです。その人は受け入れられるために従うべきです。しかし、人間に何が生じようとも、最悪なことでさえ、実際には最良のためにあるのです；神は人類にとって益にならないことは何であれ起きることを許しません。決して。たぶん益にならないと見えても、実際にはそうではないのです。

Ｑ：いいえ、私はそれにおいて人間を非難しているのです。

Ｋ：人間を非難することにより、あなたは神をも非難しているのです。これらすべての出来事は例として理解し、その結果他の人々がそのようなことをしないようにするのです。それが人類の進化成長において起きているのです。何であれ人類が過去に行ったことで、多くの痛みをもたらしたことがたくさんありますが、今日では人々はそのようなことを行いません。

　想像できますか、何千年も昔のことではなくて数十年前のことでも、もし当時今のような科学技術があったら、どのような結果を引き起こしただろうと! 絶えず成長があり、人間は時と共により賢明になっており、それが実際に起きていることです。多くの痛みを引き起こした出来事、事件、私たちはこの地球上でもはやそのようなことを繰り返さないようにすべきです。結局、経験を通じて私たちは今ここにいるのです。そして特にネガティブな体験は、人類がもっと多くをLifeから現すようにと私たちを推し進めるのです。

　もし誰もが快適に生きていたら、進化成長はないでしょう、あるがままに生きていて幸せだったら、何もしないでしょう；それについて考えてください。私たちは常により良い日をめざして努力すべきです、しかし他の人々の死体を土台にするのではなく。ですから、決して神を非難しないように。私たちは自分自身を向上させるべく努力し、そうすることによってまた他の人々もまた彼等自身のために何が正しくて、何が間違っているかを認識する助けとなるように。そして私たちがどのような体験をしようとも、私たちがその原因をつくったのです；経験は亡くなった人々のためではなく、その経験は残された人々のためにあるのです。私たちは亡くなった人々のために泣くのではなく、残された人々のために泣くべきです。亡くなった人々はより良いステートに入り、彼等自身の天国に入っていますが、後に残された人々にとって地獄が始まるのです。

　ですから、そのようになっています。私たちに多くの苦しみを生み出した人々を許すのは簡単なことではありませんが、私たちはそうするべきです。なぜならばアガピは許しを与えるからです；あなた方はこのことを覚えておくべきです。それがアガピなのです。誰かが他の人に苦しみをもたらしたら、実際にはそれはまた本人にも苦しみをもたらしているのです。

Q：本人がそれを認識しなくてもですか？あるいは意図的にそうしたわけではないからという意味ですか？

K：何と言ったらいいでしょう、誰かが痛み、苦しみをもたらしたのはもちろん偶然ではありません。もちろん、法則はそれほど厳しくはないかもしれません、その時によりけりですが。一般化することはできません。ある国が他国に苦しみを与え、その国に生まれた赤ん坊がその苦しみを経験するかもしれませんが、もしかしたらその赤ん坊は前には相手の国に住んでいたかもしれません。ですから、あまり感情的にならないように。全ての人間は皮膚の色、宗教、あるいは信条などにかかわらず、私たちは実際には一つなのです。

　私たちは悪意に対してはもっと抵抗すべきです、なぜならその結果として人間の苦しみを見ているからです。悪に対してより多くの抵抗が生じれば、それだけ良いのです。なぜならそれによってバリアー、障壁がもたらされるからです。しかし、暴力によってそれに立ち向かうのではなく。なぜなら暴力はさらなる暴力を生むからです。抱きしめることによって、何に真の価値があり、何はそうでないかを理解させるのです。そしてあなたが誰かにしていることは、実際には自分自身に行っているのです。それは原因結果の法則です。勿論、その法則がどのように働くかを知らない人もいます。誰かが苦しみを経験している時、勿論私たちはその人を気の毒に感じますが、しかし実際にはその人が相手に何をしたのかは知りません。

原因結果の法則は、もしその行為があまりに重い場合には、結果は1回の転生では終わらず、数回の転生に及ぶ場合もあります。勿論、現在のところ、人間はそれら全てを知る事は不可能ですが。

Q：しかしもし、その法則の目的がその人の行為の結果をその人に目覚めさせることにあるなら、その人は何回もの転生にわたる苦しみとのつながりを見ないでしょう。

K：なぜなら、人間はそのステートに来るまでに多くの転生を必要とするからです。彼等は他人にそれを行い、今度は他人からそれらを受け取るのです。いつもそのように働きます。それが経験ですが、しかし徐々にゆっくりとそれらは後に残されていきます。

Page5

　今、この地球上にはある種の無秩序があると言いたいのです。私たちは調和を去って、バランスの諸世界に入り、無知の結果として調和をバランスに変えました。しかしバランスがあるためには同等のパワーが必要なのですが、現在この地球上にはこのバランスがありません。どうか私を誤解しないでください、私は何であれ、どのような側の見方をしたり、政治とか政党に関わるつもりはありません。しかし今この地球上にはパワーのバランスがありません。そして、ここしばらくこれらの現象が続くのを見ており、そこではあるトラストあるいはいわば個人的な理由に動機づけられた人々のグループに奉仕するような現象が起きています。

　しかし、私はそれに対してジャッジできません、なぜならもしなぜこのようなことが起きるのかとジャッジすれば、それは私が神をジャッジするのと同じだからです。ですから、なんとしてもそれは避けるようにし、もし私がそう試みたことが益にならなかったら、後になって法則が私を裁くに任せます。もしあなたが良いことのために何かをする場合、法則はあなたをネガティブにジャッジすることはありません。

Q：それは戦争に行くことも意味しますか？なぜなら戦争にいかなければ結果はより悪くなるかもしれません。

K：もしそれが多数の人々にとっての最悪を避けるためなら、私はイエスと言い、その結果を受け止めます。法律は私を裁くかもしれませんが、しかし重要なのは原因結果の法則がどのように私を裁くかということです。

Q：サイコノエティカル体の状態が肉体の健康を支配し、それら2つの体からの影響が肉体に及びと言います。セラピストは肉体にマッサージすることによって、どのようにして健康を増進するのですか？

K：2つの方法で行われます。肉体に働きかけるセラピストは肉体に影響を与えるのみならず、それを受ける人がエレメンタルを作るのを助け、それらが現在のパーソナリティーに影響を与えます。セラピストがそのセンターについて知らなくても構いません、しかしそれらに触れることによってそれらに刺激を与え、それらからエネルギーを放出する助けとなります。ですから、それら両方によって行われ、恩恵はサイコノエティカル的に、そして肉体的にも得られます。勿論、それはサイキカルなまたはスピリチュアルなヒーラーの仕事ではありません。

　現れの他の波動において、つまりサイコノエティカル界では他の現れの波動の中で働いている不可視のヘルパーの仕事に壁があります。つまりサイコノエティカルな諸世界とこの世界の壁です。誰もそれらの波動からこの世界の波動に干渉することを許されていません。もしこの世界で生きている誰かが、亡くなった人を見たと主張するなら、それはその人が相手を意味するエレメンタルを創造し、それを自分の前に見ているのです。このことをはっきり理解してください。もし誰かが向こうの波動の世界にいる誰かを助けたいと思うなら、その人はそれらの波動の世界を訪れることができる必要があります。そしてそのためには、そのパーソナリティーは自己実現した現在のパーソナリティーである必要があり、それ以外の人には不可能です。

　自己実現したパーソナリティーは誰かをこの世界に連れてくることはしません、その人が向こうに行く必要があります；彼等は肉体をもった現在のパーソナリティーとしてのみこの世界に来ることができるのです；つまり新しく転生しなければ戻って来ることはできないということです。この世界に生きていた時のパーソナリティーとして戻って来ることはできないということです。勿論、レッスンでLifeの多重性について述べました；何であれ亡くなった人を現すパーソナリティーを創造する場合、その創造はその特定の現在のパーソナリティーによってのみ活性化されます。しかしその創造されたものは、この世界に生きていた時とまったく同じように行動するでしょう。

　あなた方が耳にする霊媒とか催眠術とかには決して触れず、信じないでください；なぜなら、ただ騙されるだけで、それ以上ではないからです。それは真剣な人間、特にサイコノエティカル的成長を求めている真剣な探究者が耳を傾けるべきものではありません。

　守護大天使および他のアークエンジェル達は現在のパーソナリティーに付き添います。そして不可視のヘルパー達は勿論転生しているわけではなく、また転生している人間の苦しみを背負うことは“不可能”です。不可視のヘルパーが人間の苦しみを背負うことができるためには、肉体が必要となります、それによって自分の身体を十字架にかけることができるように。しかしガイドとして働く別の不可視のヘルパー達がいて、彼等はガイドとして働きますが、痛みを取り除くことはできません。

Q：不可視のヘルパー達はどのような壁を作り、その結果亡くなった人がこの世界に渡ってくることができるのですか？

Page6

K：彼等は法則の番人です。例えば、彼等は亡くなった人を出迎え、その人が眠りのステートに入るのを助け、その人が自分が死んだことに気づかないで向こうの世界で人生をスタートするのを助けます。勿論、時には亡くなった人に対して病院つまり煉獄で付き添い、そのパーソナリティーが変わるのを助ける場合もあります。

　どのようにして変わるのか？前に説明しましたが、そのパーソナリティーは完全に自分の環境を築きます、つまりパラダイスです。亡くなったパーソナリティーは自分自身の天国に入ります…勿論ある人のパラダイスは別の人から見たら地獄かもしれませんが。

　しかし、もし低い波動の人が他人に痛みを与えた場合、その人は煉獄、病院に入れられ、何であれその人が生み出すこと、例えば殺人、人々を殺すなどの行為がその人を楽しませるような場合、そのパーソナリティーは眠らされ、時々目覚めさせられ、不可視のヘルパーはもっと建設的な環境を築いて、何であれ彼等が創造したものに干渉します。

　レッスンで述べたように、亡くなった人はこの世界のエーテル界を通過するのですが、それはこの世界と非常に近いのです。そして彼等はそうとは気づかずに人間の身体に取り憑き、その結果テンカンという発作が生じます。また月にいる人々が満月の時に月から逃げだそうとします…満月の時には月のサイキカル体が地球のサイキカル体とつながるからです。なぜなら月は煉獄、牢獄なのです。いいですか、このことは月を訪れた宇宙飛行士によって目撃されています。彼等は声を聞き、それら非常に低い波動の存在たちによってひどい影響を受けたのです。

　身体が乗っ取られると、そのパーソナリティーはその存在に抵抗してテンカンの症状を起こします。そのパーソナリティーは普通、身体と意識との間のつながりがゆるいのですが、だからといってそのような人が全てテンカンになるわけではありません。

　もしあなた方がそのような人を見かけたら、自分の白い手を見て、それを身体の右側にある肝臓に当て、そこを押します。

Q：可塑剤を使って死体を保存し、それを適当に切断して肉体を詳しく観察することが行われています。このテクニックを展示することは教会によって禁止されています。

K：現在のパーソナリティーに属する身体の肉を保存するのですか？私はそれに賛成しません。なぜ賛成しないのか理由を言いましょう；なぜなら、身体をこの世界において保存することは、身体を保つことになり、その結果その身体にいたパーソナリティーは解放されないのです。教会がそれに賛成しないのは良いことです。しかし臓器移植に関しては反対しません。

Q：肉体の遺伝子に手を加えて変更することは、サイコノエティカル的な向上と関連するのですか？

K：肉体は特に特定のパーソナリティーの現れにマッチするように築かれます、性格、身体のマークでさえ多くの転生を通じて続きます。転生するたびに新しい肉体を持つのですが、同じマークがそこに現れるのです。

Q：ドラッグを使用する人について知りたいのですが、彼等はそれを止めようと努力しますが、もしそれを克服できない時はどうなるのですか？

K：もし今生で止めることができない場合、残念ながら次の転生でも続けることでしょう。アルコール中毒に関しても同じことが言えます。助けを求めるべきで、そのような中毒は非常に悪いことです。痛みのゆえにモルヒネを与えられる人の場合は、法則が決めることでしょう。

Q：安楽死が適用されるポイントというのはありますか？

K：最後まで生きるように闘うべきです。また神の慈悲というものがあります、そして誰かに何が起きようとも、それは罰ではなく、レッスンです。神は慈悲深く、絶対愛であり、誰をも罰することはしません。神は人間が何をしようとも、例え他の人に何をしようとも、全ての人間を抱きしめます。一人残らず、全ての人の内側に働いている法則はその人を罰する代わりに、レッスンを与えて、それによってそのパーソナリティーが助けられ、Lifeのスパークへと戻り、Lifeのスパークと共に現れることができるようにするのです。

EREVNA PYR 67